



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.3
R7.1.29

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

寒さの中にも梅便りが聞こえるこの頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、個別事例検討会議を1月に開催し、「経済的に苦勞しながら在宅で介護している老老世帯への支援」について話し合いました。本人に関わるケアマネジャー、デイサービス事業所、ヘルパー等が参加しました。

★経済的に苦勞しながら在宅で介護している老老世帯への支援

母(本人)と後期高齢者の子で暮らしています。本人は介護保険サービスを利用していますが、金銭的な問題や子への心配から、新たなサービスの利用は拒否しています。子は持病を抱えながら本人の世話を担いますが、思うようにいかないことから、すぐに感情を露わにし、本人、ケアマネジャー、事業所へ暴言がみられます。いつか本人への身体的な暴力に繋がらないか、関係者は危惧しています。

参加者からは、次のような意見が出ました。

介護負担や暴言を軽減するため、

- ・本人・子の希望の傾聴
- ・本人を説得し、新サービスを利用

金銭的な問題へは、

- ・支援内容と負担費用の提示

以上を踏まえて、ケアマネジャーが主導して働きかけていくこととなりました。

在宅介護が今後も継続できるよう、本人や子の気持ちを大事にして、支援体制を見直すことができました。

＊＊12月の検討事例の経過報告＊＊

★「お金の使い方が無計画な高齢女性と、その家族の支援について」

長男の妻だけが悩み続けている状況であり、依然、家族間での話し合いはありません。包括では家計について、家族全員が同じ問題意識を持てるよう支援をしていきます。

検討事例募集中

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？
下記までご連絡よろしくお願いいたします。



笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871